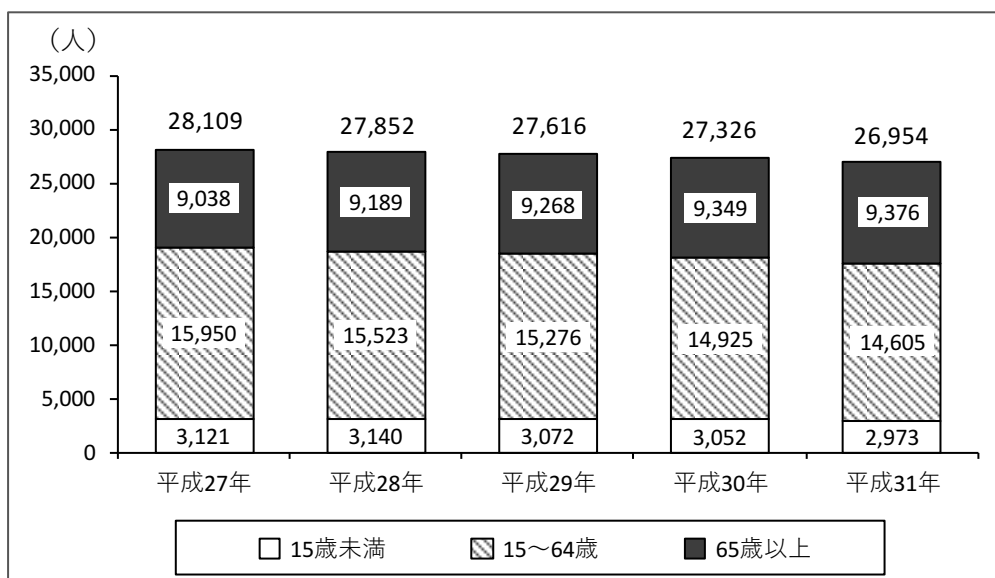


## 第2章 子ども・子育てを取り巻く状況

### 1. 近年の人口の推移と割合

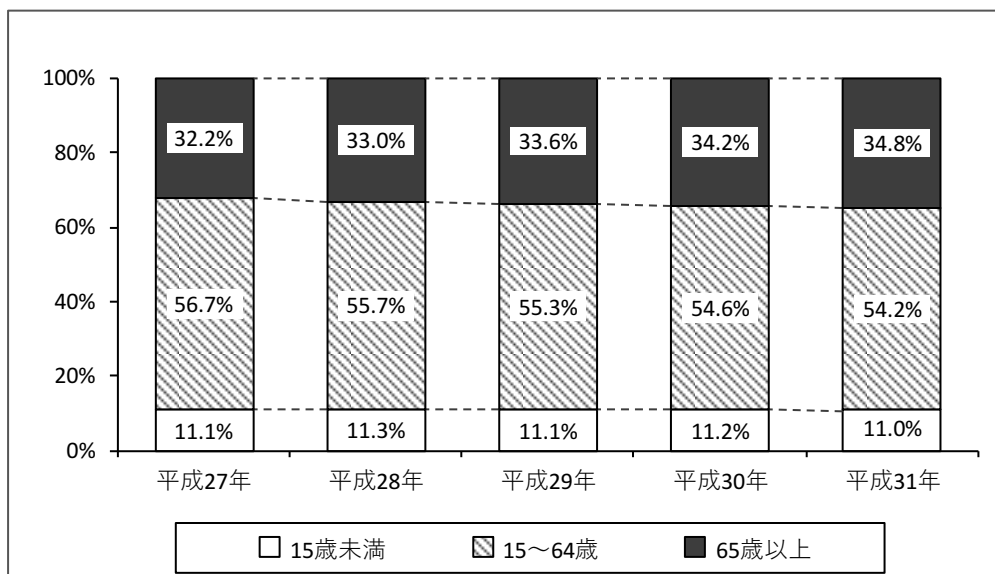
年少人口（0～14歳）が増加に転じた年もあるものの、全体的な傾向としては、年少人口と生産年齢人口（15～64歳）の減少、老年人口（65歳以上）の増加により少子高齢化が進んでいます。

#### ◆人口の推移◆



資料：住民基本台帳（各年4月1日時点）

#### ◆人口の割合◆

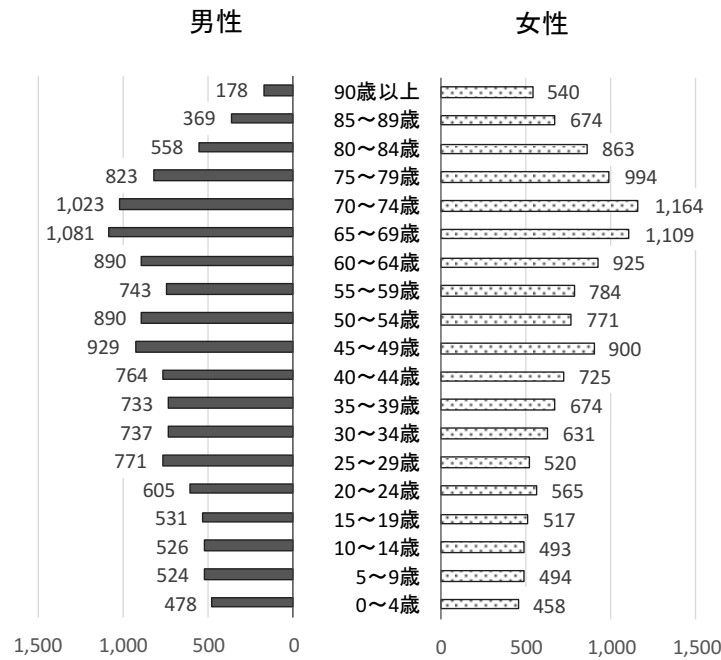


資料：住民基本台帳（各年4月1日時点）

## 2. 人口構造

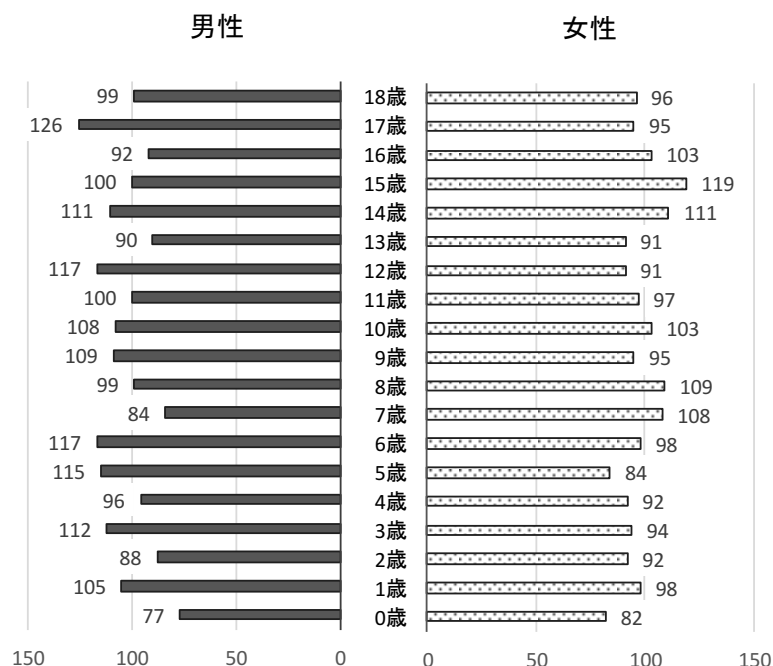
全体では、団塊の世代を含む65～74歳と団塊ジュニアを含む45～49歳の人口が多く、24歳以下の人口が少なくなっています。また、18歳以下の1歳階級でみると、年齢ごとに増減はあるもののおおむね横ばいとなっています。

### ◆人口ピラミッド（5歳階級別）◆



資料：住民基本台帳（平成31年4月1日時点）

### ◆人口ピラミッド（18歳以下の1歳階級別）◆

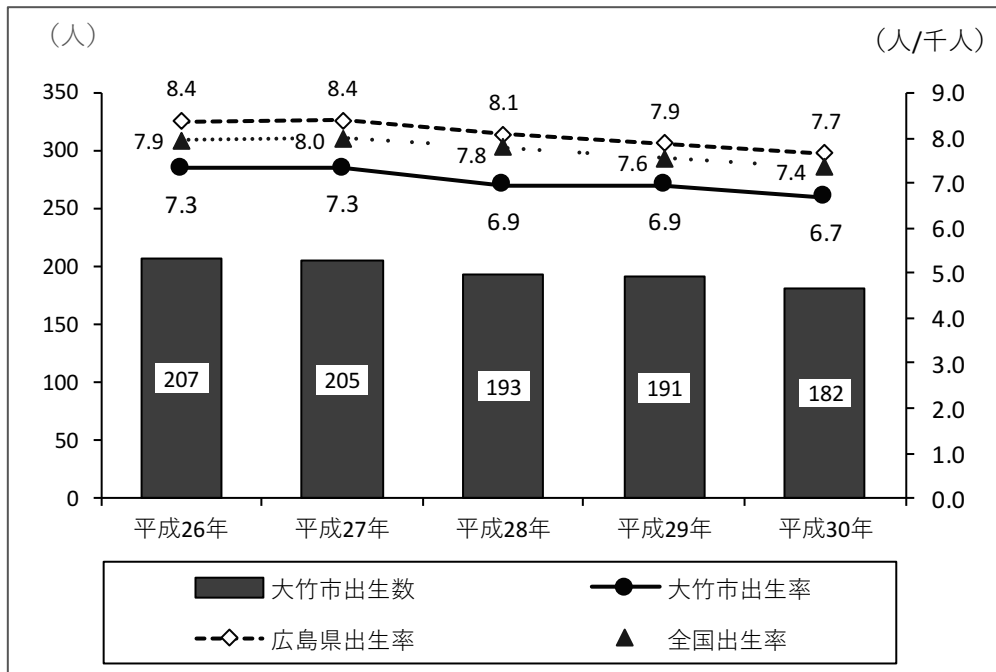


資料：住民基本台帳（平成31年4月1日時点）

### 3. 出生の状況

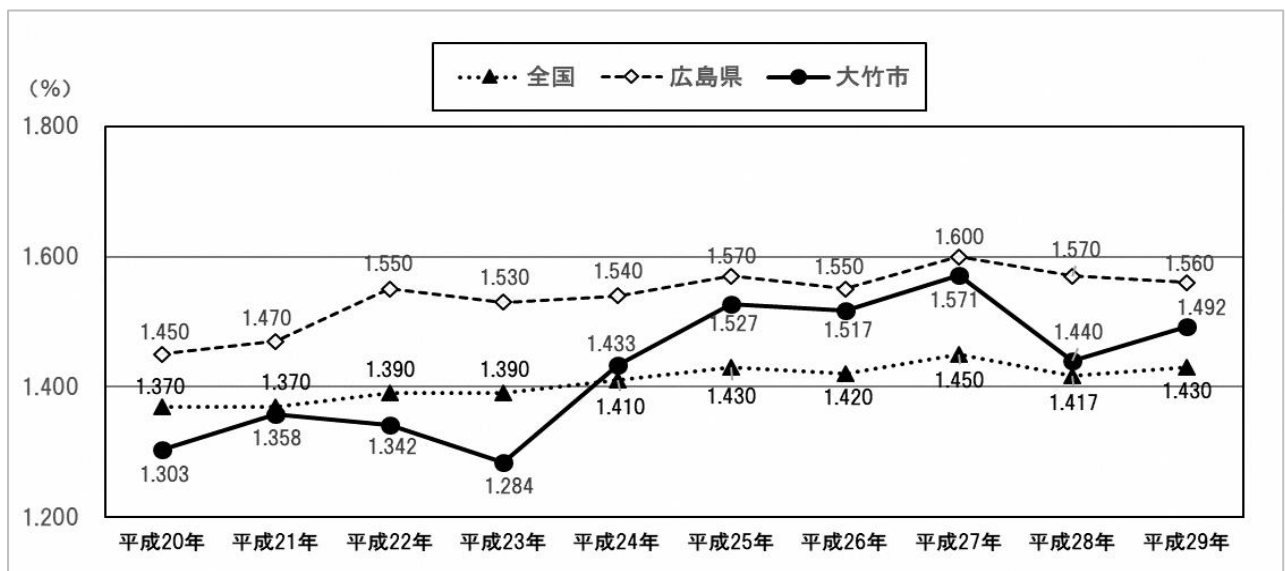
出生数・出生率ともに、近年は横ばいから減少傾向で推移しています。また、合計特殊出生率は、大竹市は全国よりは高いものの、広島県よりは低くなっています。

◆出生数と出生率◆



資料：住民基本台帳

◆合計特殊出生率◆



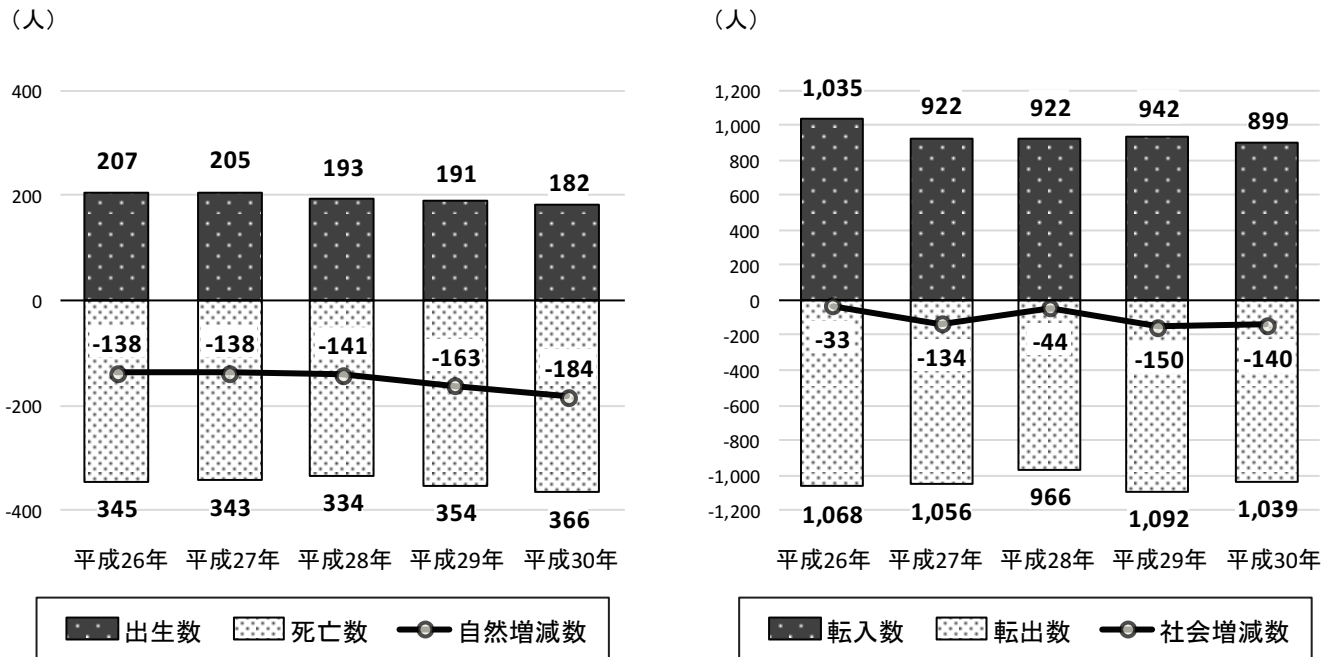
資料：広島県人口動態調査，企画財政課

◆合計特殊出生率 … 15歳から49歳までの女性の、各年齢の出生率を合計し、一人の女性が生涯に何人の子どもを産むのかを推計したもの（一人の女性が一生の間に産む平均の子ども数）です。

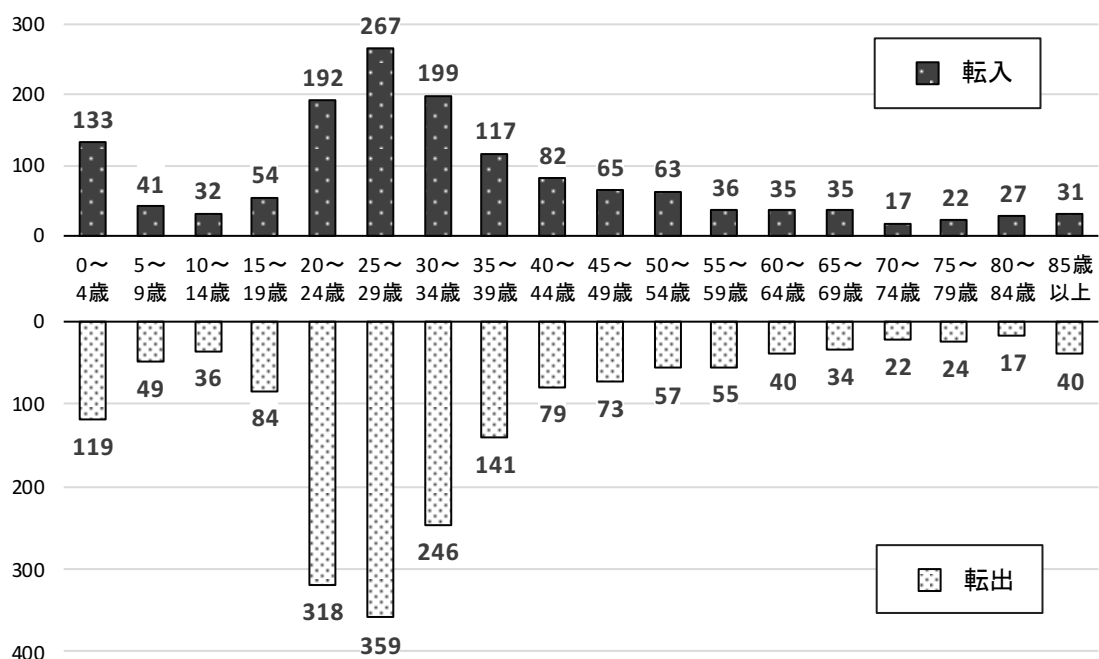
## 4. 自然動態と社会動態

自然動態・社会動態ともに減少で推移しています。また、5歳階級別の転入と転出をみると、0～4歳は転入が多く、15～39歳の転出が多くなっています。

### ◆自然動態と社会動態◆

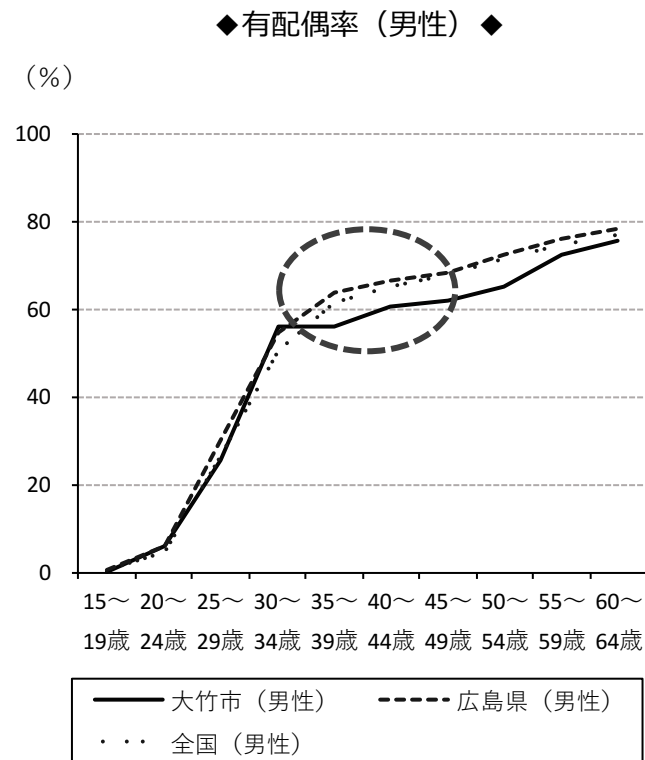


### ◆転入と転出の比較 (5歳階級別) ◆

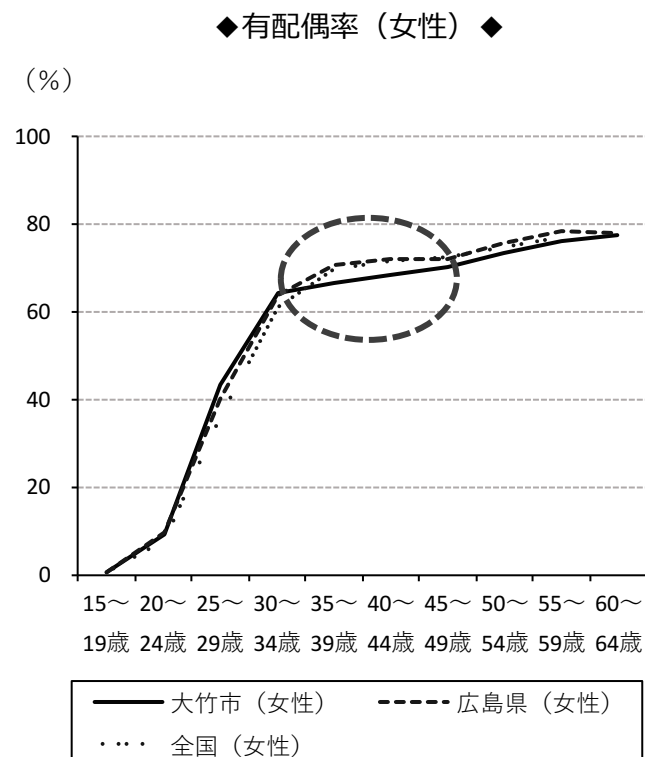


## 5. 婚姻の状況

婚姻の状況を示す有配偶率について、全国・広島県と比べて、男性・女性ともに34歳まではほぼ同様となっていますが、35～44歳で低くなっています。



資料：国勢調査（平成27年）

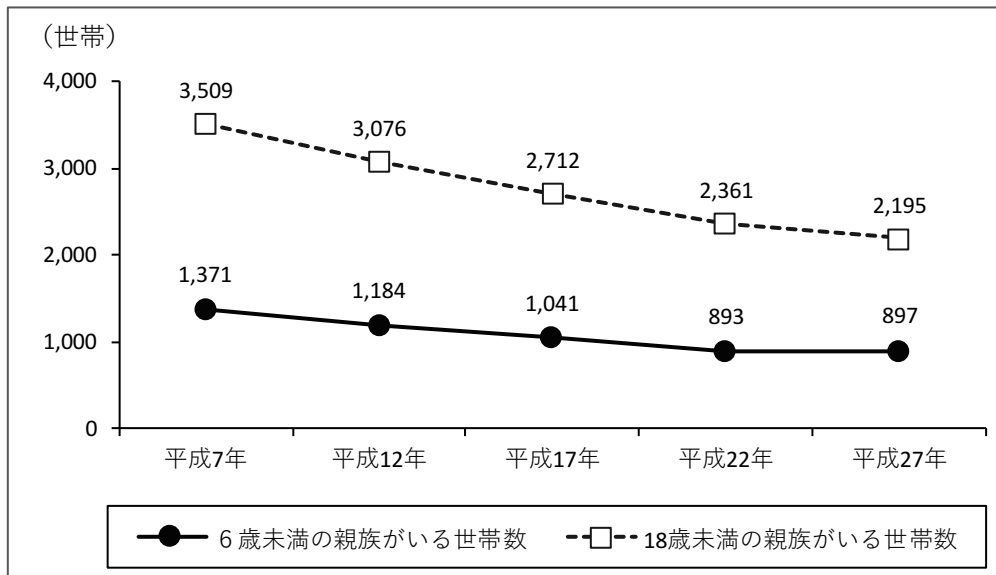


資料：国勢調査（平成27年）

## 6. 子どものいる世帯の状況

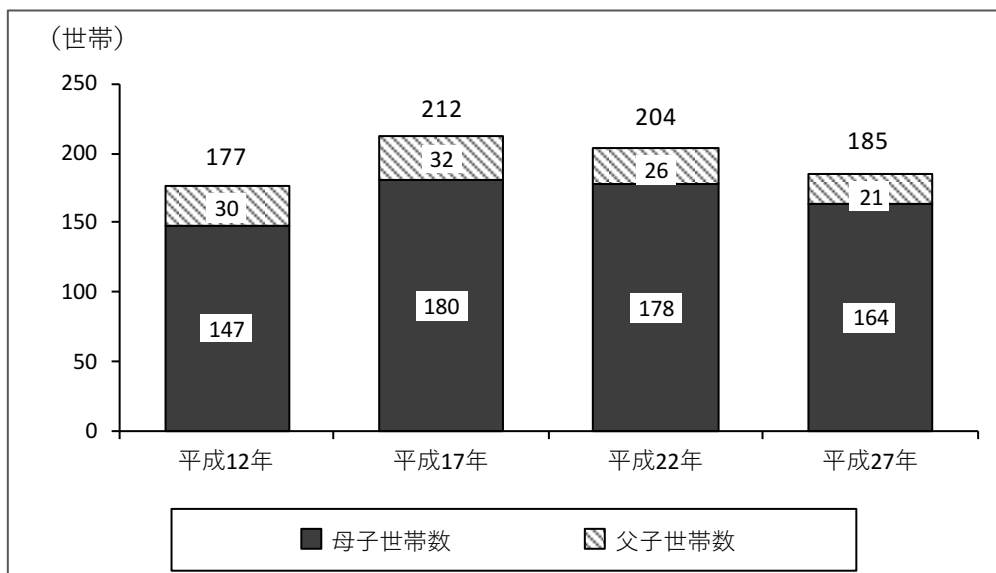
子どものいる世帯数は減少傾向にあり、ひとり親世帯数も平成17年以降は減少傾向にあります。

### ◆子どものいる世帯数◆



資料：国勢調査

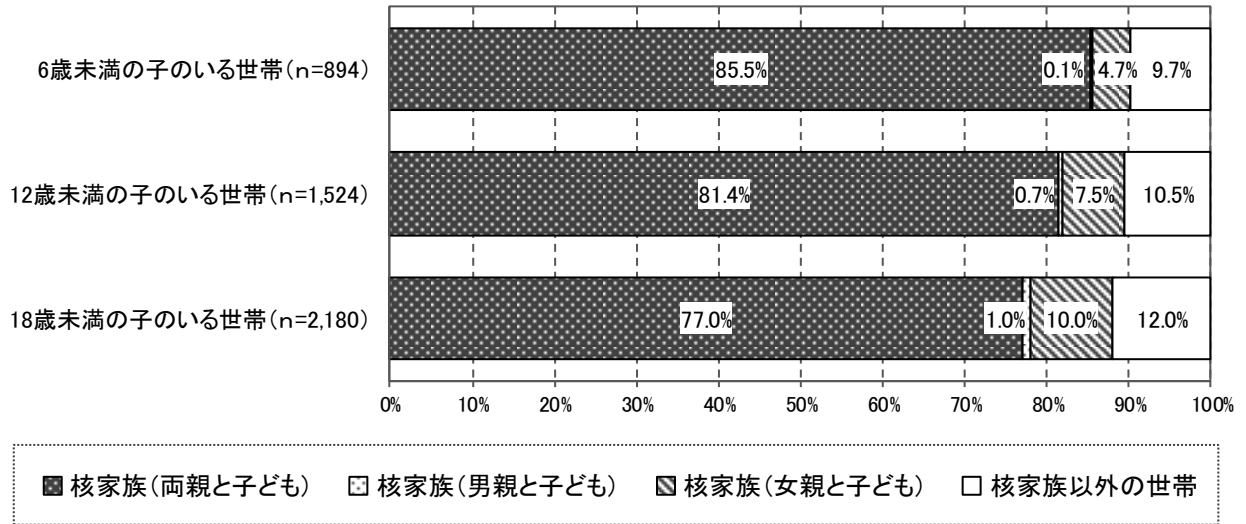
### ◆ひとり親世帯数◆



資料：国勢調査

また、子どものいる世帯の家族形態をみると、約9割が核家族となっており、6歳未満の子のいる世帯で4.8%、18歳未満の子のいる世帯では11.0%でひとり親世帯となっています。

◆子どものいる世帯の家族形態◆



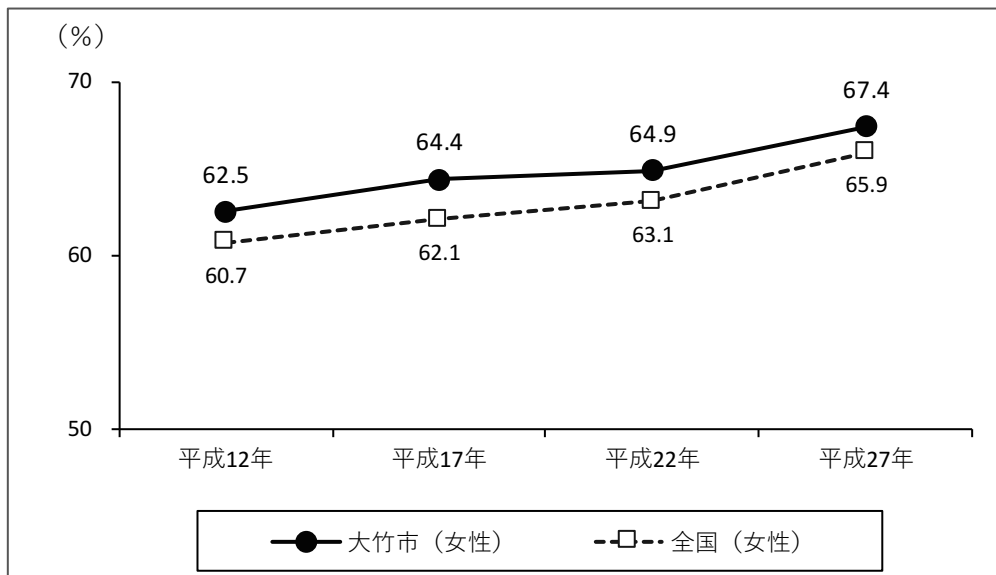
資料：国勢調査（平成27年）



## 7. 女性の就業状況

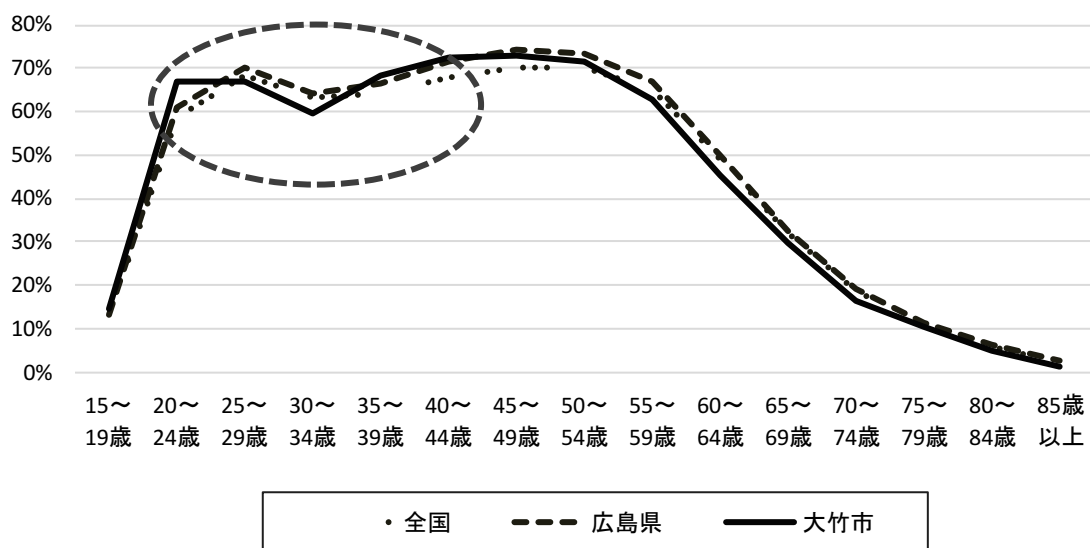
女性の子育て世代（25～44 歳）の就業率をみると、全国平均より高く推移しており、年齢別に女性の就業率をみると、全国・広島県とほぼ同率に推移しています。ただし、25～44 歳では、出産や育児に伴う離職などにより就業率が下がる、いわゆる「M 字カーブ」を描いています。

◆就業率（女性：25～44 歳）◆



資料：国勢調査

◆女性の就業率（5 歳階級別）◆



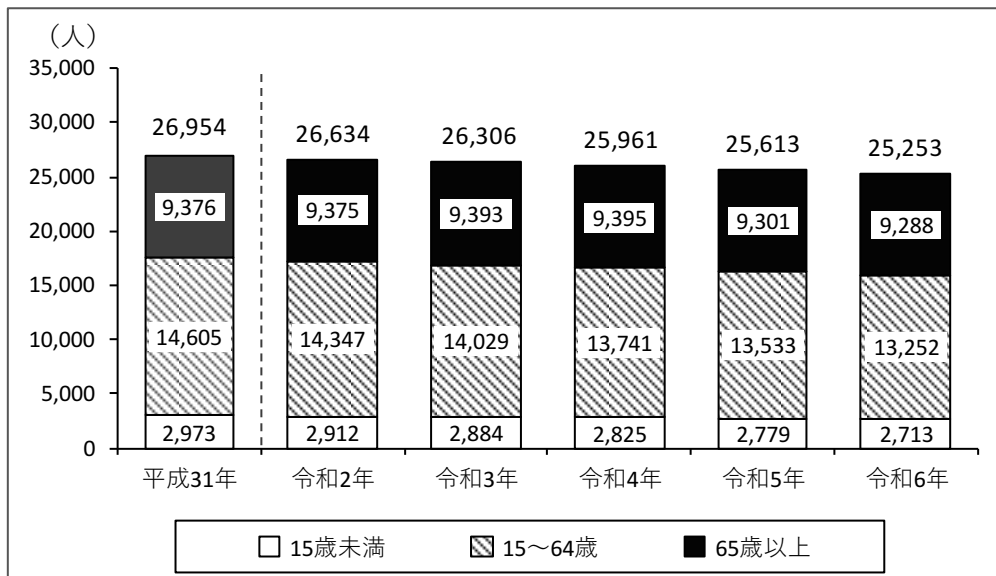
資料：国勢調査（平成 27 年）



## 8. 人口の推計

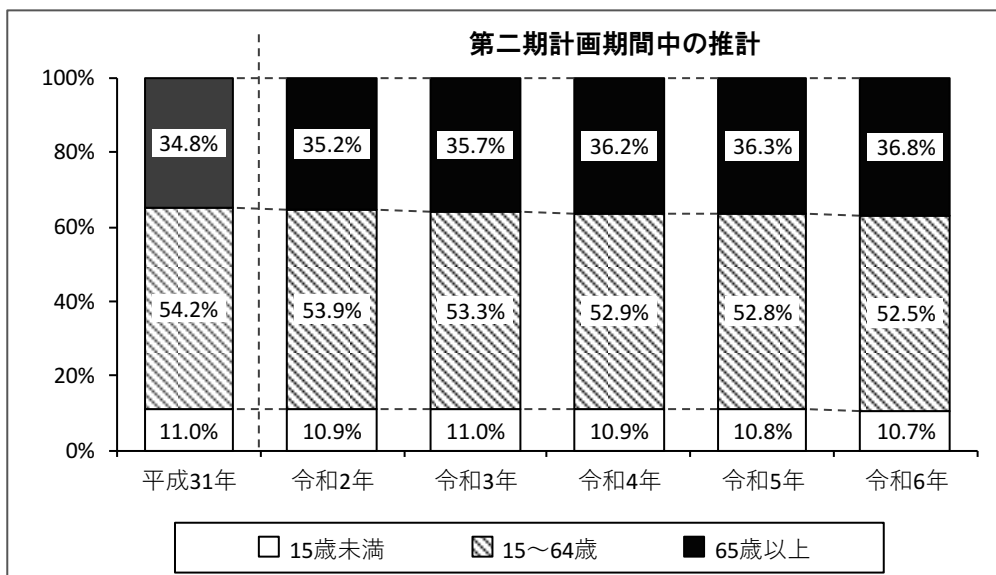
第二期計画期間中の人口推計をみると、全体の人口減少が進行するとともに、三区分別人口の割合から少子高齢化も進行することが予想されます。

### ◆人口の推移（推計）◆



資料：住民基本台帳（平成 27～31 年の各年 4 月 1 日時点）をもとに推計（コーホート変化率）

### ◆人口の割合（推計）◆



資料：住民基本台帳（平成 27～31 年の各年 4 月 1 日時点）をもとに推計（コーホート変化率）

◆コーホート変化率 … コーホートとは「同じ年（または同じ期間）に生まれた人々の集団」をいい、コーホート変化率とは、各コーホートの、過去の人口推移などから算出した変化率をいいます。過去や将来に特殊な人口変動要因がない場合の比較的近い将来の人口推計などに使用します。

## 9. 子どもの人口推計

第二期計画期間中の子どもの人口推計をみると、出生数の減少に伴い子どもの人口も年々減少していくことが予想されます。

### ◆子どもの人口推計◆

	実績	第二期計画期間中の推計				
	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0歳	159	176	170	163	158	152
1歳	203	158	175	169	162	157
2歳	180	205	159	177	171	163
3歳	206	177	201	156	174	168
4歳	188	202	173	196	153	170
5歳	199	186	200	171	194	151
就学前児童計	1,135	1,104	1,078	1,032	1,012	961
6歳	215	197	184	198	169	192
7歳	192	218	200	187	201	172
8歳	208	192	218	199	186	200
9歳	204	207	191	217	198	185
10歳	211	205	208	192	218	199
11歳	197	212	206	209	193	219
小学生児童計	1,227	1,231	1,207	1,202	1,165	1,167
12歳	208	192	205	200	203	187
13歳	181	206	190	203	198	202
14歳	222	179	204	188	201	196
中学生計	611	577	599	591	602	585
15歳	219	224	181	206	190	203
16歳	195	219	224	181	206	190
17歳	221	194	218	223	180	205
高校生計	635	637	623	610	576	598
合計	3,608	3,549	3,507	3,435	3,355	3,311

資料：住民基本台帳（平成27～31年の各年4月1日時点）をもとに推計（コーホート変化率）